

日本史演習 I

2 units 3rd-year(1st semester), 4th-year(1st semester)

Megumi Kuwabara · PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

Target 日本 の 戦 国 期 から 明 治 維 新 期 に か け て の 主 要 な 論 文 を 取 り 上 げ て、そ れ ら の 主 張 点 問 題 点 等 を 検 討 し、学 生 が 個 々 の 関 心 に そ つ た 研 究 を 進 め て ゆ く た め の 方 法 や 視 角 な ど を 身 に つ け ら れ る よ う に す る。論 文 の 読 解 を 進 め る こ と で、研 究 史 の 理 解 を 深 め、史 料 に 基 づ い て 議 論 す る 能 力 を 養 う。ま た、近 世 史 料 の 読 解 能 力 を 高 め る た め に、史 料 講 読 も 取 り 入 れ る。

Outline 日 本 近 世 史 の 史 料 を 解 読 す る 能 力 を 身 に つ け、近 世 史 に 関 す る 主 要 な 論 文 の 読 解 と 論 評 を 行 う 能 力 を 養 成 す る。

Keyword 日 本 近 世 史、論 文 演 習、史 料 講 読

Fundamental Lecture “日本史研究 I”(0.5)、“日本史基礎研究 I”(0.5)

Relational Lecture “日本史演習 II”(1.0)

Notice 学 生 の 発 表 を 中 心 に 授 業 を 進 め る。発 表 者 以 外 の 者 も、必 ず 質 問・発 言 を し て 議 論 を 展 開 す る こ と に よ っ て、論 文 読 解 の 能 力 を 養 う よ う に す る。こ の 授 業 は、「日 本 史 演 習 I」(衣 川 教 官 担 当、火 曜 日 3・4 講 時) と 密 接 に 関 連 さ せ て 行 い、随 時 共 同 授 業 を 行 う。日 本 文 化 サ ブ コ ー ス で、日 本 史 を 専 攻 し よ う と す る 学 生 は 両 授 業 を 受 講 す る こ と が 望 ま し い。

Goal 日 本 近 世 史 の 史 料 や 論 文 の 内 容 を 理 解 し、論 評 で き る 能 力 を 身 に つ け る こ と。

Schedule

1. 演習で取り上げる史料や論文は、開講時にリストを配布して、学生の希望に基づいて担当を決定する。取り上げる分野の例としては、以下の通りである。
2. I. 近世初期政治史関係の論文
3. II. 村落史研究
4. III. 村と支配-非領国地域と領国地域との比較
5. IV. 身分制論の諸研究
6. V. 都市史研究の成果から
7. VI. 思想史研究からの視点
8. VII. 幕末維新时期研究の成果から
9. VIII. 女性史研究の成果から
10. IX. 地方史に関する諸研究
11. X. 藩政・領主制に関する諸研究
12. 徳島城博物館への見学
13. 徳島城博物館への見学

14. 県立文書館への見学と歴史史料の利用について学習

15. 総括授業

Evaluation Criteria 担 当 し た 論 文 に つ い て ま と め る レ ジ ュ メ、史 料 等 や 発 表、さ ら に は、演 習 時 の 発 表 や 意 見 の 提 示 な ど の 平 常 点 に 基 づ い て、レ ポ ー ト に よ っ て 評 価 す る。

Re-evaluation 行 わ な い。

Textbook 講 義 の は じ め に 詳 し く 論 文 の リ ス ト を 配 布 し、論 文 も 配 布 す る。参 考 文 献 は 演 習 を 進 め な が ら 適 宜 指 示 す る。

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219285>

Contact

⇒ Kuwabara (+81-88-656-7157, megumi@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: メールで事前に予定を確認し、日時を合わせて質問に答える形を取る。メールアドレスは、megumi@ias.tokuhsima-u.ac.jp)